

# KEYAK!

11月号

嫌でも季節の話をしたくなりますね。寒い。今年はほとんど秋を感じる暇もなく冬に突入したような気がします。いい季節があつという間に過ぎ去ったので、落ちまくってくる枯葉に好印象はまったくなく、いつもは落ち葉に感慨深く接している私さえ朝の掃除をする職員一同が口には出しませんが思っている「嫌な時期になっちゃったな」を感じる次第です。

うんどうかいと参観保護者会へのご参加ご協力ありがとうございました。参観をもちましてうんどうかいは完結!?ということになるのでしょうか。もちろん1学期の生活があつてこそですが、うんどうかいではみんなで同じ方向を向いてひとつのことに取り組むことの経験を重ねてくれたことと思います。遠足で皆で同じものを見て同じ行動をとってみる体験もしてくれたことでしょう。うんどうかいでは個人の運動能力も違いますし、遠足で感じたこともさまざまでしょう。しかし、これからやってくる「こどもかい」はそれらを踏まえた上で、子どもたちの中にあるイメージ力の違い、その差を少しずつ埋めていくことでクラスごとにクラスなりの子どもたち同士のイメージの「共有」が生まれてくることで「こどもかい」は成立してくるのです。

それと共に、セリフや場面の絵は絵本の中から共有しやすいですが、例えばどんな風に登場してくるのか、声色はどんなだろう、絵と絵（ページとページ）の間のイメージはひとそれぞれだと思います。それらをどんな風に子どもたちが表現してくれるのかは子どもたちの想像力の賜物です。プラスして以前から述べていますが、絵本を通して絵本の言いまわしなどの表現方法としての「新しい言葉との出会い」は、子どもたちにとって語彙力をきっと伸ばしてくれることでしょう。

イメージの共有や皆でひとつのことを達成するのは大人でもなかなか難しいことです。そこに向かっていける子どもたちって素敵だな、といつも感じます。あとは学年やクラスなりの雰囲気です！先生も含めた子どもたち同士の雰囲気（ノリみたいなものかな）で、子どもたち自身も周りの人も印象に残るものであったらいいなと思っています。

## 今月のねらい

3歳

- それぞれの思いを出し合いながら、友達と一緒にあそぶ
- ごっこ遊びを通して友達とイメージを共有したり、自分なりに表現を楽しんだりする
- 季節の変化に気づいたり、秋の自然物を使って遊ぶ楽しさを味わったりする

4歳

- 友達との遊びを楽しみながら、かかわりを広げていく
- クラス全体でまとまると楽しい遊びや活動を経験し、実感する
- したいことが実現できるように材料や場を選んだり、使い方を工夫したりする

5歳

- 互いにアイデア・イメージを出し合ってクラスで共有していく
- 内容や取り組みなど、クラス集団で意見を出し合って共通理解する
- 全体を見渡して、必要に応じて援助し合うことができる